

平成30年度 社会教育委員会（第3回）議事要旨

◇日 時

平成30年9月27日(木) 午後7時～9時

◇会 場

市役所地下会議室A・B

◇出席者

【委員】櫻井委員、小杉委員、大西委員、小田委員、横山委員、大島委員、望月委員、水口委員、森岡委員、大庭（敏）副委員長、土屋委員長、高橋委員

【事務局】高橋社会教育係長

※市民協働によるまちづくり推進協議会委員と合同会議

◇会議次第

1. 開 会

2. 社会教育委員長あいさつ

3. 市民協働によるまちづくり推進協議会会長あいさつ

4. 協議事項

市民活動の集いについて

① どのような場であるべきか

② その場を達成するための手法、内容

5. 報告事項

① 各種委員会の会議報告等

② 第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会（11/15・16）について

6. そ の 他

・第4回会議の日程について

7. 閉 会

◇審査経過

主な内容は次のとおり。○は委員の発言)

1. 開 会

大庭（操）委員は所用のため欠席

2. 社会教育委員長あいさつ 土屋委員長

団体の交流は難しいが、個人同士がつながることは大事である。今年度、まちづくり推進協議会から「地縁と志援」のつながりを作ったらどうかという良い提案をいただき、一緒に行う事になったので、一緒に「市民活動の集い」を考えていきましょう。

3. 市民協働によるまちづくり推進協議会会長あいさつ 森川委員長

9/27の地方情報誌にも掲載されたが、「3世代で星を見る会」など、世代を越えての事業が開催されたりしている地域もある。

4. 協議事項

市民活動の集いについて

③ どのような場であるべきか

- 地縁と志援それぞれの良さを理解し合うために
- 共通する困り事を解決する方法を考えるために
- 地縁と志援をつなげるために
- 違った視点で自分達の活動を見直すヒントを得るために
- 継続的なつながりのために
- 踏み込んだ交流のために
- 型にはまらず楽しく自由な発言の場をつくるために
- 新しい活動が生まれるために

④ その場を達成するための手法、内容

- トークフォークダンスをやろう
- ワークショップをしよう
- MC付の地区の自慢大会でモチベーションUP
- MC付の市民団体のPR
- 美味しいお菓子・お茶
- 若い世代（子連れのママ達・高校生）に参加してもらおう 多世代交流
- IT（SNS）の活用
- とっておきの一枚を持ってくる
- 二次会をやる
- 多世代の人たちの参加をすすめる

◎今後は、各会から3名程度による実行委員会にて細部を協議

5. 報告事項

① 各種委員会の会議報告等

特になし

③ 第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会（11/15・16）について

土屋委員長、小田委員、大島委員、森岡委員、高橋出席予定

6. その他

・第4回会議の日程について

次回開催日：11月5日（月） 19：00～ 生涯学習センター1階 団体活動室

6. 閉 会 大庭（敏）副委員長